

貧困は誰のせい？ 青年がシールアンケートで対話

SNSで宣伝、動画再生3500回超

東京ジャック



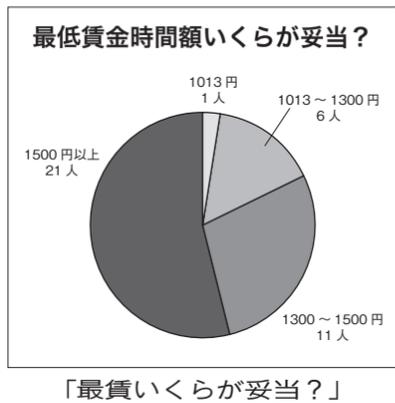
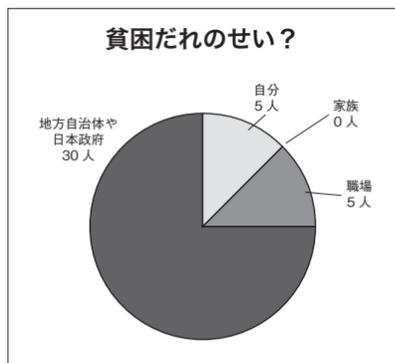
インタビュー企画で話す上西充子さん (青年協ツイッターで公開)

東京地評青年協は11月8日、新宿駅東口で「東京ジャック(青年大宣伝行動)」を開催し、青年組合員96人が参加しました。リレートークを中心に、シールアンケート、プラカードアピールも行った。「労働組合に入って社会を変えよう」と街行く同世代の青年に呼びかけました。

止めの問題、②補償の問題
 ③青年に広がる自己責任論の3つを宣伝のテーマにして企画をすすめてきました。動画再生回数は3500回を超えました。



シールアンケート対話の様子(11/8 @新宿駅東口アルタ前)



「バ非連」組織交流会
 11月17日地評会議室で「コロナ禍で浮き彫りになった 非正規労働の闘いに学ぶ」をテーマに組織交流会を行いました。参加者は14人。齋藤誠一代表挨拶の後、首都圏青年ユニオンが飲食店ユニオン結成の経過と相談の状況を説明し取り組みを報告。出版ネットが、フリースタイルの状況と闘いを報告し、交流しました。今後も権利拡大に向けて奮闘する決意を固めました。

11月26日、全労連・国民春闘・東京地評・東京春闘が共催した学習会が衆議院議員会館で開催され、黒沢幸一全労連事務局長の報告、JILPT 呉学殊総括研究者から「韓国の最低賃金と中小企業支援策」について講演を受けました。

11月27日、ラパスホールで開催し、13組織21人が参加しました。山縣宏寿専修大学准教授を招いて「コロナ禍のもとで進行する労働者性の剥奪と地域ユニオンの重要性」をテーマに学習。その後、各地からの間の労働相談事例等が報告され、交流しました。

都議会開会日行動
 11月30日(月)昼休みに東京都庁前にて108人で実施。萩原議長の後援後、コロナ倒産を防げ(東商連)、都立病院なくすな(充実を求める連絡会)、核兵器禁止条約批准を急げ(東京原水協)と訴えました。会派から星見い子都議(日本共産党)が挨拶しました。

【加盟組合の定期大会】
 立川労連第30回大会
 10月28日開催。議長に鈴木孝さん(立川地域ユニオン)、事務局長に日下努さん(法会労立川支部)。

杉並区労連第29回大会
 10月29日、阿佐ヶ谷区民センターで開催。議長に高田善行さん(電機

オスプレイいらぬと1000人 基地はいま、事故・コロナ感染の温床



無声コールで配備撤回の意思表示

11月22日午後、福生市・多摩川中央公園で、横田基地に配備されているCV-22オスプレイの撤去を求め集会を開催(主催オスプレイ反対東京連絡会)。会場上空を米軍機が旋回飛行するなか一千人以上が参加。初のウェブ中継は六〇〇アカウントが閲覧しました。集会は萩原東京地評議長のあいさつで始まり、日本平和委員会の特別報告の

後、中学・高校生・青年労働者による平和運動交流シンポジウムを行いました。横田基地周辺ではオスプレイが低空・夜間飛行など激しい訓練を行っており、これは米本土では許されない危険な訓練内容であり、そのため多くの落下事故などを起こし、住民の命と安全を脅かしています。オスプレイ配備を撤回し、基地のない平和な日本



中小企業シンポ(11/14)

を一日も早く実現し、未来の若い世代につなぐには日米地位協定を改定する新しい政権が必要との認識を共有する集会となりました。

また、11月以降、在日米軍関係者の感染が急増、11月4日現在で2人だったのが、20日には42人、12月2日現在、99人まで拡大。都と周辺市町連絡協議会は11月20日、同基地などに感染防止などを求め口頭要請を行うも、抜本策はうたれていません。在日米軍からの感染情報公開が先月来、更新されず、正確な情報が今

中小企業は雇用と地域の守り手 共同の運動を今こそ 第7回中小企業シンポ

「地域の活性化で企業も労働者も元気に」をテーマに、第7回中小企業シンポジウムを11月14日にけんせつプラザ東京(東京土

建)で開催し、オンライン参加も含め60人が参加。基調講演とコーディネータは吉田敬一駒沢大名誉教授と、イタリヤやドイツにおいて中小業者と地域を守る取り組みを紹介しながら進めました。

パネリストには、中小企業家同友会全国協議会・石渡裕さん(政策委員長)、東京土建・北川誠一さん(書記次長)、全労連・秋山正臣さん(事務局次長)が、それ

ぞれ新型コロナウイルス下での対策と地域経済の活性化、労働条件の向上と労使関係づくりなどの実践例をめぐって報告、討論しました。

フロア発言では東京からは、全印総連東京・嶋岡書記長、全国一般東京・龍前書記長、東京土建・渡辺副委員長が、職場や現場の厳しい実態と対策に取り組んだ経験を交流。全商連からも持続化給付金申請の取組みと自治体要請について発言があり、厳しくなる雇用や経済情勢の下、コロナ禍だからこそ中小企業支援と地域経済の活性化を共同で進め、賃金引き上げなどにつなげる運動課題を深めました。

11月23日、ラパスホールにて開催し、11単産5地域より33人の代議員、傍聴・役員等合計48人が参加しました。13人から、コロナ禍でも奮闘する様々な取り組みが報告されました。会派から星見い子都議(日本共産党)が挨拶しました。

【加盟組合の定期大会】
 立川労連第30回大会
 10月28日開催。議長に鈴木孝さん(立川地域ユニオン)、事務局長に日下努さん(法会労立川支部)。

杉並区労連第29回大会
 10月29日、阿佐ヶ谷区民センターで開催。議長に高田善行さん(電機